



健康で豊かな国民生活を保健医療福祉情報システムが支えます

2018年度 業務報告会

相互運用性委員会 活動報告

2019年2月4日

相互運用性委員会

委員長 木村 雅彦

- 今年度の事業計画
- 今年度の活動成果
 - (1)JAHIS標準類の策定
 - (2)実装システムの検証
 - (3)標準化の普及推進
- 来年度の実業計画

(1) JAHIS標準類の策定

- データ交換規約の共通課題(患者プロフィール情報やオーダ付帯情報の標準化、文字コード、HL7のバージョンなど)に取り組み、その結果をデータ交換規約(共通編)や必要に応じて個別編に反映する。
- 既存の標準類については、制定後3年経過を目途に改版を行い、より実践的なものにすべく機能拡張を図っていく。(基本データセット適用ガイドライン、データ交換規約(共通編)など)
- これまで十分な検討がされていない新たなテーマについては、部会や委員会を超えて合同で検討を行う。(給食オーダなど)
- 電子処方せん実装ガイドについても、実運用に向けた取り組みを継続する。

(2) 実装システムの検証

- 過去12年間(実証事業の3年間を含む)行ってきたJAHIS実証実験を継続する。
- 各種ツールの整備やテーマの拡大も図る。

(3) 標準化の普及推進

- 他の標準化プロジェクトや団体で策定された標準類との整合を図りながら、関係者と密接に連携して普及活動を行う。セミナー(講習会)等も企画する。

～ 制定済 ～

① 電子処方箋実装ガイドVer.1.1

部会横断のTFとして活動を行い、診療報酬算定で問題となるCDA記述仕様上の課題について、平成29年度の厚労省委託事業での日本薬剤師会の修正案検討に協力すると共に、その成果として厚労省から2018年7月末に公開された新しいCDA記述仕様に対応し、2018年10月にJAHIS技術文書として制定済
 ※詳細はこの後のセッションで説明予定

② 病名情報データ交換規約Ver.3.1C

LOINCを用いた患者プロフィール情報のコード化など、他のデータ交換規約との整合化やICD-10 2013年版への対応を行い、2018年8月にJAHIS標準として制定済

～ JAHIS標準制定プロセスに則り、作業中 ～

③ データ交換規約(共通編)Ver.1.2

HL7V2.5ベースの各種データ交換規約の共通的な仕様を取りまとめたJAHIS標準で、データ交換規約の共通課題であるHL7のバージョン、文字コード、MLLP(Minimal Lower Layer Protocol)の不採用、患者プロフィール情報の標準化などについての記述の明確化を行い、年度内にJAHIS原案を完成予定。

④ 基本データセット適用ガイドラインVer.2.3

HIS間で互換性を保ちながらデータ交換が行えるよう、ドメインごとに基本データセット項目やそれらのHL7へのマッピングを定義し、エクスポート・インポート時の留意事項を取りまとめた技術文書で、参照しているデータ交換規約の最新版に準拠すると共に、JAHIS実証実験(後述)で見つかった知見を反映して、年度内にJAHIS原案を完成予定。

病名データ交換規約 Ver.3.1Cの主な改版内容

- 「JAHIS データ交換規約(共通編) Ver.1.1」の参照
 - 共通編の最新版であるVer.1.1を参照
 - IN1/ZI1、QAK、RCP セグメントについては共通編を参照し、差分のみ記述
- HL7 規約の日本語訳等に関する他のJAHIS 標準類との整合
 - 他のデータ交換規約で対応したOBXやORCセグメントなどのHL7規約の日本語訳の間違いの修正を反映
 - 感染症や血液型などの患者プロフィールの標準コードとしてLOINCを採用
- ICD-10 2013 年版コードの表記方法の定義
 - PRB-10 にICD-10 2013 年版のコードをセットする場合の表記方法を定義

```
PRB|AD|20170115|20054174^胃炎^MDCDX2|123456789012345|||20161231|||20170115|
K297^^I10^0^外来時^JHSD0004^2013|||N^回復せず^HL70241|20170115|20161231|
胃炎|1^主診断^JHSD0007|||||V^非常に限定^HL70177<CR>
```

JAHISデータ互換性実証実験2018

13年目

- 実施期間：2018年10月15日(月)～19日(金)

- 実施場所

東京都立産業貿易センター 台東館
(IHE-J コネクタソン2018会場)

- 実施テーマ

①患者情報(患者身体情報) ②病名情報
③検体検査結果

- 参加会社

(株)ソフトウェア・サービス、日本電気(株)、日本アイ・ビー・エム(株)、
富士通(株)

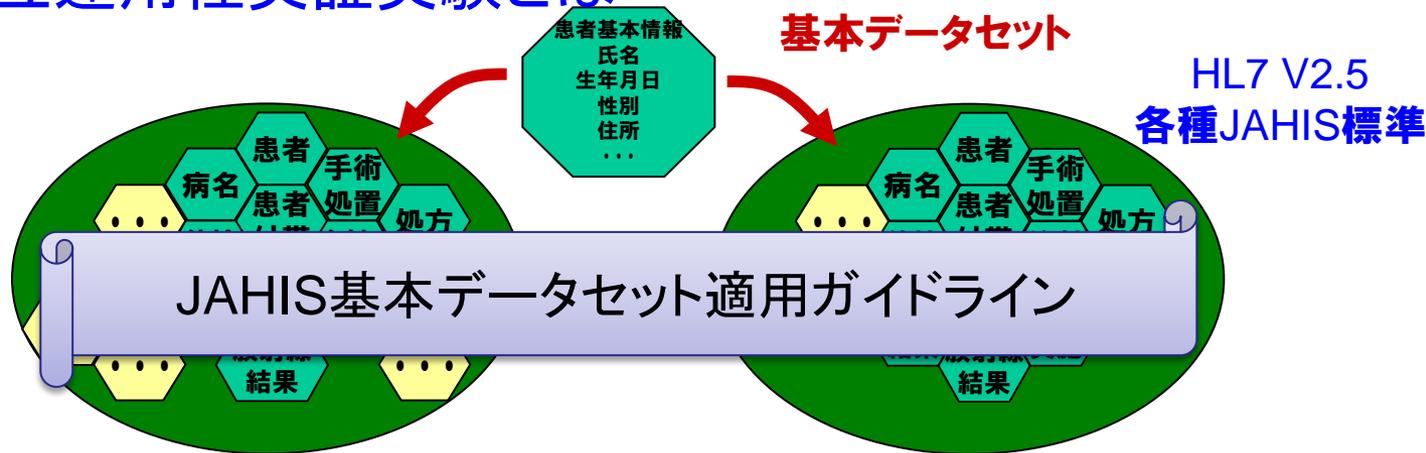
- レポート:

トップ » 活動と報告 » 実証実験・ツール » 実施結果 » 2018年実施結果



全社合格

JAHIS相互運用性実証実験とは



A社



エクスポート
データの抽出

HL7メッセージ

```

RXE||23022097^ジブラール軟膏 5g/本
^99ZL3^106238001^ジブラール軟膏 0.05%
^HOT|2||08^本^99ZL4^HON^本^99SM9|209^塗布薬
^99ZL8^OIT^軟膏^99SM9|||2|08^本^99ZL4^HON^
本^99SM9...
TQ1|||820926_____4.00&(塗布薬) 1日4回,左手
&99ZL2~QID&1日4回&HL70335|||20091017
...
    
```

GLに準拠した正しいメッセージか？

正しく抽出できたか？

B社



データの取込・表示



インポート

C社



正しく取込・表示できたか？



今年度実証実験の主な課題・トピック

<患者情報>

- 病名情報データ交換規約Ver.3.1Cの改版を踏まえた実験
- アレルギー情報や感染症情報を標準コードLOINCで表現する

<病名情報>

- 病名情報データ交換規約Ver.3.1Cの改版を踏まえた実験
- ICD-10 2013年度版を含むデータ交換

<検体検査結果>

- 新たなドメインにおけるデータ交換
- 課題の洗い出しを目的に、基本的なデータ交換を中心とした実験

今年度実証実験の主な反省点・課題

<病名情報>

- ICD-10の2003/2013が混在するシナリオだったが、実運用としてはどうか。
- 診断日・開始日・終了日などの日付がシステムやユーザによって記載内容や項目の理解に揺れがあるのではないか。

<検査結果(検体検査)>

- 部門番号をどの単位で採番するか整理ができておらず混乱があった。
- 現場では検査項目の基準値が変わる場合ローカルコードを変更しているが、データ交換は標準コードで行なうため対応が難しいのではないか。
- エクスポート時のオーダ情報はオプションとしたが、インポート側でオーダ情報が必須のため、オーダ情報を生成して対応したケースがあった。

- ① 日本医療情報学会(標準策定・維持管理部会)、SS-MIX普及推進コンソーシアム、日本HL7協会、日本IHE協会等との連携
 - SS-MIX2の仕様書やIHE-JのTF基本仕様へのデータ交換規約の採用
 - SS-MIX2仕様策定会議への委員派遣
 - 日本HL7協会との合同WGでHL7V2.5の日本語訳の見直し
 - 厚労省事業「SS-MIX2ストレージのクラウド化に関わる調査」へのアドバイザー派遣(予定)

- ② JAHIS相互運用性実証実験の成果や各種ツール類のHPでの公開
 - 1) JAHIS相互運用性実証実験の報告(2010~2018)
 - 2) HL7メッセージ作成支援ツール(Ver.1.2~Ver.1.7)
 - 3) HL7辞書ユーティリティ(Ver.1.0~Ver.1.2)

公開場所: [トップ](#) » [活動と報告](#) » [実証実験・ツール](#) » ...

- ③ 「**薬剤に関する医療情報セミナー**」の開催(6年連続、名称変更)

日時: 2019年2月8日(金) 午後

場所: JAHIS会議室第1~第4会議室

講師: 土屋 文人 先生(国際医療福祉大学 薬学部 特任教授)
池田 和之 先生(奈良県立医科大学附属病院 薬剤部)

演題: 薬剤部門に関する最近の話題ー変わりゆく薬剤師業務と情報システムの関わりー

HL7メッセージ作成支援ツールとは

- 基本データセットの値を基にHL7メッセージを出力するExcelツール
- JAHIS相互運用性実証実験の審査支援ツールを横展開
- HL7メッセージはJAHIS基本データセット適用ガイドラインVer.2.2に準拠

カテゴリ	基本データセット項目				データ型	セグメントNO	エクスポート・データ
	項目名	項目説明	SUFFIX	項目成分 #			
	患者ID	患者の識別子			CX	PID-3	1234500001
	漢字氏名	患者の氏名(漢字)		姓	XPW	PID-5 NK1-2	患者 一郎
	カナ氏名	患者の氏名(カナ)		姓 名	XPW	PID-5 NK1-2	カンジャ イチロウ
	生年月日	患者の生年月日(西暦)			TS	PID-7	19650415
	性別	患者の性別			IS	PID-8	M
	住所	患者の住所			ST	PID-11 NK1-4	東京都港区鹿ノ門6丁目1番1号
	郵便番号	患者の郵便番号			ST	PID-11 NK1-4	1050001



```

■ HL7メッセージ
MSH|^~\&|SEND||RECEIVE||20100825112959.120||ADT^A28^ADT_A05|20100825112959120|P|2.5|||||ASCII^ISO IR07||ISO 2022-1994<CR>
EVN||20100825112959||10001|医師 太郎^^^^^L^^^^I^イシタロウ^^^^L^^^^P|20100515101345|^1311234567^L<CR>
PID||1234500001^^^^PI||患者 一郎^^^^L^I^カンジャ イチロウ^^^^L^P||19650415|M||||1050001^^H^東京都港区鹿ノ門6丁目1番1号^^^^1050003^^B^東京都港区鹿ノ門6丁目3番3号||^PRN^PH^^^^03-3599-9991^^NET^INTERNET^taro@maru-shoji.co.jp^^ORN^PH^^^^03-3599-9994^^EMR^PH^^^^03-3599-9992|^WPN^PH^^^^03-3599-9993|||||
20061014101234|Y||20100515101345|^1311234567^L<CR>
NK1||患者 一郎^^^^L^I^カンジャ イチロウ^^^^L^P|SEL^本人^HL70063|^1050001^^H^東京都港区鹿ノ門6丁目1番1号^^^^1050003^^B^東京都港区鹿ノ門6丁目3番3号||^PRN^PH^^^^03-3599-9991^^NET^INTERNET^taro@maru-shoji.co.jp^^ORN^PH^^^^03-3599-9994^^EMR^PH^^^^03-3599-9992|^WPN^PH^^^^03-3599-9993|||||
鹿ノ門商事株式会社^D<CR>
NK1|2|患者 太郎^^^^L^I|EMC^緊急連絡先^HL70063|^1050002^^H^東京都港区鹿ノ門6丁目2番2号|^EMR^PH^^^^03-3599-9992<CR>
PV1||N<CR>
<EOM>
    
```

※厳密に準拠させるには、ダブルバイト文字をISO 2022-1994 (JISコード)に変換し、かつ<CR>,<EOM>等の区切り文字を対応する文字コードに置き換える必要がある。

(1) JAHIS標準類の策定

- データ交換規約の共通課題に取り組み、その結果をデータ交換規約(共通編)や必要に応じて個別編に反映する。
- 既存の標準類については、制定後3年経過を目途に改版を行い、より実践的なものにすべく機能拡張を図っていく。(生理検査データ交換規約など)
- これまで十分な検討がされていない新たなテーマや技術標準については、部会や委員会を超えて合同で検討を行う。(HL7 CDAR2やHL7 FHIRなど)
- 電子処方箋実装ガイドについても、実運用に向けた取り組みを継続する。

(2) 実装システムの検証

- 過去13年間(実証事業の3年間を含む)行ってきたJAHISデータ互換性実証実験を継続し、参照するデータ交換規約や基本データセット適用GLへ反映する
- 各種ツールの整備やテーマの拡大も図る。

(3) 標準化の普及推進

- 他の標準化プロジェクトや団体で策定された標準類との整合を図りながら、関係者と密接に連携して普及活動を行う。セミナー(講習会)等も企画する。



健康で豊かな国民生活を保健医療福祉情報システムが支えます

ご清聴ありがとうございました